



三松中学校図書館だより 6月号



梅雨の時期になりました。雨の日が多くなりますが、そんな時こそ本を読むチャンスです♪普段はあまり本を読まないという人も、この機会に一冊でも読んでみませんか？ 何を読めばいいかわからないという人は、人気の本やおすすめの本を紹介するので、まずこの中から選んでみてください。まだ他にもおもしろい本はたくさんあるので、雨の日にはぜひ図書室に足を運んでくださいね。

★5月のベストリーダー

- 第1位 2A 上山 智大さん 46冊
- 第2位 3B 鳥越 美帆さん 43冊
- 第3位 1B 中原 瑠南さん 41冊
- 第4位 1A 福田 竜正さん 40冊
- 第5位 3A 高佐 みのりさん 38冊
- 第6位 1A 八ヶ代 柳央さん 36冊
- 第7位 2A 増田 琥珀さん 34冊
- 第8位 1B 横山 聖羅さん 32冊
- 2B 小堀 友梨奈さん 32冊
- 第10位 2B 高野 由衣さん 31冊

★5月のベストブック

- 第1位 PHP研究所『ラストで君は「まさか！」と言うシリーズ』
- 第2位 古館春一『ハイキュー！！ショーセツパン！！』
久保帯人『劇場版 BLEACH The DiamondDust Rebellion』
白井カイウ『約束のネバーランド～ノーマンからの手紙～』
- 第5位 藤子・F・不二雄『DORAEMON』
和ヶ原聡司『はたらく魔王さま！』
- 第7位 伏瀬『転生したらスライムだった件』
氏田雄介『54字の物語』
赤澤竜也『吹部！』
川崎美羽/著 大今良時/原作『小説 映画 聲の形』
空知英秋『銀魂 帰ってきた3年Z組銀八先生 もっとリターンズ』
安達奈緒子/著 蒔田陽平/ノベライズ『コードブルー ドクターヘリ緊急救命』

応援しています！

★部活動に関連する本★



ハイキュー！！ショーセツパン！！ / 古館春一
練習・料理・おつかい!? IH 予選前に行われた烏野高校バレー部 GW 強化合宿！激戦を勝ち抜くため猛特訓＆共同生活に励む日向たち。本編では明かされなかった“もうひとつの合宿の景色”を小説版で解禁!!



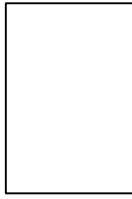
一瞬の風になれ / 佐藤多佳子

春野台高校陸上部、一年、神谷新二。スポーツ・テストで感じたあの疾走感…。ただ、走りたい。天才的なスプリンター、幼なじみの連と入ったこの部活。すげえ走りを俺にもいつか。デビュー戦はもうすぐだ。「おまえらが競うようになったら、ウチはすげえチームになるよ」。青春陸上小説第一部、スタート。



吹部！ / 赤澤竜也

弱小吹奏楽部にやってきた素性不明の顧問、ミタセン。変人ながらも類まれなる音楽センスによって超個性的な部員が揃う吹部を立て直していく。全日本コンクール金賞を目指し部員たちが奮闘する、爽やかな青春小説!



心を整える / 長谷部誠

『心は鍛えるものではなく、整えるものだ。いかなる時も安定した心を備えることが、常に力と結果を出せる秘訣だ。自分自身に打ち勝てない人間が、ピッチで勝てるわけがない。』サッカー日本代表キャプテンとして、チームを勝利へ導いた男の実践的メンタルコントロール術。

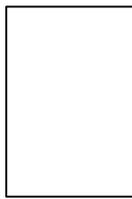


梅雨時期のオススメ本



雨の降る日は学校に行かない / 相沢沙呼

屋下がりの保健室。そこは教室に居場所のないサエとナツのささやかな楽園だった。けれどサエが突然“自分のクラスに戻る”と言い出し…。学校生活に息苦しさを感じている女子中学生の憂鬱と、かすかな希望を描き出す6つの物語。



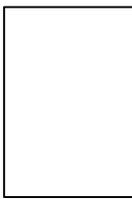
言の葉の庭 / 新海誠

また会うかもね。雨が降ったら…。雨の朝、静かな庭で二人は出会った。靴職人を志す高校生の孝雄と、謎めいた年上の女性・雪野。迷いながらも前に進もうとする2人は、どこへ足を踏み出すのか…。



晴れた日には図書館へ行こう / 緑川聖司

館内にこっそり置かれ続けるドッグフードの缶詰に、クリスマスツリーから消えた雪、空飛ぶ絵本に、半世紀前に読んだきり題名の分からない本を見つけてほしいという依頼……。図書館が大好きな少女・しおりが、司書をしているいとこの美弥子さんと一緒に、本にまつわる謎を追う…。



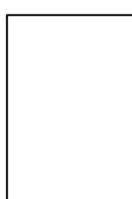
天気の子 / 新海誠

高校1年の夏、帆高(ほだか)は離島から家出し、東京にやってきた。連日降り続ける雨の中、雑踏ひしめく都会の片隅で、帆高は不思議な能力を持つ少女・陽菜(ひな)に出会う。「ねえ、今から晴れるよ」。それは祈るだけで、空を晴れに出来る力だった。天候の調和が狂っていく時代に、運命に翻弄される少年と少女が自らの生き方を「選択」する物語。



本を読む女 / 林真理子

進学・就職・結婚のたびに幾度も厳しい現実の波に翻弄されながらも、いつも彼女のそばには大好きな本があった。大正から昭和にかけての激動の時代、常に前向きに夢を持ち続けたひとりの女性の物語。



君がいる時はいつも雨 / 山田悠介

孝広は幼いころに事故で両親を亡くし、叔父夫婦のもとに身を寄せている。夏休みが始まり、寂しさを紛らわせようと大好きな野球に打ち込むのだが、そこへ謎の男の子が現れた。必ず雨とともに姿を見せる彼はいったい何者なのか？ 出会うはずのなかった2人の切ない夏休みが始まる。